

# 令和 7 年度 生活習慣病重症化予防連携推進会議 議事要旨

- 1 日 時 令和 7 年 1 1 月 2 5 日（火） 1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 2 0
- 2 開催場所 北九州市役所 3 階大集会室
- 3 参加者 〔構成員〕 松井構成員、海津構成員、益田構成員、柴田構成員、金井構成員、  
柳田構成員、杉本構成員、前野構成員、大藏構成員、中島構成員、  
松丸構成員、丸子構成員、十時構成員、増田構成員、足立構成員、  
田中構成員  
〔関係団体〕 福岡県庁  
〔事務局〕 保健福祉局健康医療部長、保健福祉局健康医療部健康推進課長ほか
- 4 議 題
  - ・北九州市の現状について
  - ・昨年度からの取組みの進捗状況
  - ・CKD 予防連携システムの改変について
  - ・各構成員からの情報提供等

## 5 議題概要

北九州市の現状について・・・資料 1（1）、（6）、北九州市の人工透析患者数の推移

議題資料について、事務局より説明。

<主な内容>

- （1）特定健診受診率、特定保健指導実施率について
  - ・コロナ禍から回復傾向にあった特定健診受診率は、令和 6 年度は微減する見込みであるが、政令市中 4 位の順位を維持。未受診者へのハガキや SNS による勧奨、訪問・電話、医療機関への協力依頼を引き続き実施する。
  - ・特定保健指導については、実施率向上を目的に、今年度から医師会に加え民間委託や市直営による新たな指導体制を導入した。今後の効果を検証する。
- （2）糖尿病重症化予防に関する取り組みの評価
  - ・特定健診受診者のうち、HbA1c 8%以上の割合は令和 5 年度と比べ横ばい。人工透析の医療費および新規透析患者数の割合は減少傾向にある。
- （3）人工透析患者の状況
  - ・市国保、後期高齢者医療ともに透析患者の割合は横ばい。
  - ・透析導入年齢は、令和 3 年度は 70～74 歳がピークだったが、令和 5 年度以降は 80～84 歳ピークとなっており、年々高齢化が進んでいる。

## 昨年度からの取組みの進捗状況・・・資料2、資料3、資料4、資料5

議題資料について、事務局より説明。

### <主な内容・結果>

#### (1) チラシの作成について

- ・これまでのパンフレットは専門用語が多く、一般市民には理解が難しいという意見があった。厚生労働省作成のチラシをベースに修正・追加を行い、医師会の先生方とも相談の上、配布を開始。今後、特定健診の結果返し時に配布し活用していく。

#### (2) 市政だより等での周知について

- ・糖尿病と比較して、CKDや腎機能への認知度が低いという意見を踏まえ、当課で啓発活動を強化。市政だより、市の公式LINE、健康アプリなどを活用し、腎機能や検尿異常について啓発を継続している。

#### (3) 糖尿病性腎症重症化予防対象者への通知

- ・国保連からのデータ提供に基づき、令和4年度から6年度のレセプト情報を活用した治療中断者の把握と受診状況の分析を開始。直近3ヶ月間に治療が中断している対象者に令和8年1月に特定健診および医療機関への受診勧奨通知を送付する予定。

#### (4) 各区地域包括支援センターでの周知

- ・昨年度会議の提言を受け、各区地域包括支援センターでの研修を通じてケアマネジャー193名へ本市のCKD対策を周知。今後も継続する。

#### (5) ヒートマップシールの改変について

- ・「移植」文言の追加や検査値記載を反映する方向で運用する。

## CKD 予防連携システムの改変と専門部会の設置について・・・資料6

議題資料について、事務局より説明。

### <主な内容・結果>

- ・ガイドライン改定を受けてシステム改定の検討を行うため、専門部会を設置して見直し案を策定する。検討にあたっては医師会と密に連携・共有を図るとともに、健診からの受診勧奨基準の実現可能性や医療現場への影響について慎重に議論を行う方針。専門部会で作成した改定案は改めて本会議へ提示し、新運用に向けた再提案を行う。

## 各構成員からの情報提供等・・・資料7、資料8、資料9

- (1) 金井構成員より慢性腎臓病協力医（CKD 協力医）制度及び腹膜透析の提供体制に係る課題、行政への協力依頼について
- (2) 中島構成員より生活習慣病と歯科の関連について
- (3) 大藏構成員より医科と歯科の連携や資料活用の必要性について
- (4) 十時構成員より医療機関で活用している資料や活動について
- (5) 田村構成員より看護協会研修会について

各構成員からは、多職種連携に向けた多くの専門的な提言がなされた。これらの意見については、今後のシステム改変や啓発資材の改善等において反映・活用していく。

■次回開催について 専門部会の進捗により決定